

会津医療センター建物警備等業務委託仕様書

公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター（以下「会津医療センター」という）の建物警備等業務は、下記により実施するものとする。

1 総 則

- (1) 本仕様書は、会津医療センターの建物の維持管理及び安全を保持し、会津医療センター内外の電気設備、機械設備等の諸設備を障害なく運用すること及び建物設備定期検査並びに報告書作成を目的とする。
- (2) 「会津医療センター建物警備等業務」とは、「建物警備業務」、「駐車場業務」、「設備管理業務」、「建築設備定期検査業務」、「除雪業務」及び「共通業務」をいう。
- (3) 各分野の業務従事者は、互いに連携して業務の遂行に当たること。
- (4) 規律の保持等
 - ① 業務に従事する際の服装は、乙指定の制服及び名札を着用すること。
 - ② 業務従事者に対する指導、教育を徹底し、来院者や電話の相手に対して、不快感を与えないような態度、言葉遣いで接すること。また、幹部による巡察を行い、現場における規律の保持に努めること。
 - ③ 甲が業務従事者として不適当と認めた者については、協議のうえ、業務従事者を交替させること。
- (5) その他
 - ① 業務遂行上必要とする部屋（防災センター）、附帯設備及び備品は無償で使用させる。
 - ② 業務の遂行上必要な電気、水道代等については甲の負担とする。

2-1 建物警備業務

(1) 業務の目的

会津医療センター警備対象区域内を計画的に巡回するとともに、業務内容に関する連絡、通報等に対しては直ちに現場に赴き的確に対応することにより、火災、盗難及び不法行為を防止し、もって、財産の保護保全、職員・患者及びその他来客者の身体の安全を図る。

(2) 業務の内容

① 盗難の予防、防止

- ア 正面玄関及び各出入口、さらには各部屋の施錠の確認に関すること。
- イ 鍵の貸出保管に関すること。
- ウ 窓・戸の閉鎖の確認に関すること。
- エ 不審者・潜伏者の発見と排除に関すること。
- オ 事故発生時又は事故発見時における関係職員への連絡・通報に関すること。

② 火災の予防、防止

- ア 各種不始末事項の発見処理及び消灯等に関すること。
- イ 火災発生時における初期消火、人命保護、関係職員・関係機関への通報連絡に関すること。緊急時の対応については、防火・防災管理者に指示を仰ぎ対応する。
- ウ 電気器具、暖房器具等の消火の確認と安全確保に関すること。

エ 当センター災害対策マニュアルに基づく災害対応に関すること。

オ その他防災に関すること。

③ その他の業務

ア 電話の応対、交換業務に関すること。

イ 患者、職員の呼び出し及び病院業務に係る院内放送に関すること。

ウ 救急車、ドクターヘリ及び防災ヘリの誘導に関すること。

エ 救急患者、来診者、面会者等との案内対応業務（待合室への誘導含む）に関すること。

オ 郵便物、荷物等の収受に関すること。

カ 拾得物の保管、預かり証の交付に関すること。

キ 不当駐車規制に関すること。

ク 遺体搬送時の霊安室解錠、施錠及び葬祭業者対応に関すること。

ケ その他甲が管理運営上必要と認める事項に関すること。

(3) 警備対象区域

① 会津医療センター本体すべての箇所

② カルテ庫、車庫、その他附属建物すべて

③ 会津医療センター敷地内駐車場（ヘリポート含む）及び調整池

(4) 施設巡回時間

① 平日（4回）

午後6時30分、午後9時、午前0時、午前7時

② 土・日・休日及び年末年始（6回）

午前10時、午後3時、午後6時30分、午後9時、午前0時、午前7時

(5) 業務時間

① 平日（昼間：電話交換） 午前8時15分から午後5時15分まで

平日（夜間） 午後5時00分から翌日午前8時30分まで

※午前8時15分及び午後5時から各15分間引き継ぎを行うこと。

② 土・日・休日及び年末年始（12月29日から1月3日まで）

午前8時30分から翌日午前8時30分まで

※ 午前8時15分、午後5時から15分間引き継ぎを行うこと。

(6) 休憩時間（業務の都合により、下記以外の時間にとることも可とする。）

① 昼間勤務時内においては、1時間の休憩時間を有する。

a：正午～午後1時

b：午後1時～午後2時

② 夜間勤務時の休憩時間は次のとおりとする。

a：午後5時から午後10時まで及び翌日の午前5時から午前8時30分までのうち1時間30分。

b：午後10時から翌日の午前5時までのうち2時間。

(7) 人員配置

① 交代制勤務により、平日（昼間・夜間）においては2名以上（昼間は電話交換業務、夜間は警備業務）、土・日・休日及び年末年始（12月29日から1月3日まで）にお

いては3名以上（電話交換業務及び警備業務）とする。

② 警備に係る業務従事者の中には「建築保全業務積算要領」の警備員B以上の者を配置すること。

③ 乙は、警備員及び電話交換業務の配置等については、書面により届け出るものとする。

④ 乙は、警備員を変更するときは、書面により届け出をし、甲の許可を受けるものとする。なお、配置する警備員の全員の履歴書（写真添付）を提出すること。

（8）業務責任者等

① 乙は、乙の正社員である業務責任者を定めなければならない。

② 受託業務の履行にあたっては、乙の業務責任者のもとで、警備員を指揮・監督し、業務を円滑・適正に遂行できるよう教育、指導を行わなければならない。

③ 業務遂行時の服装は、乙の指定する制服を着用すること。

（9）対応

警備員は常に礼儀正しく、言動に慎み、患者等に対しては親切な態度で接し、適切な対応をしなければならない。

（10）報告

① 施設警備日報（任意様式）

② 面会者受付票（単票）

③ 書留文書收受簿

④ 業務時間中に収受した文書・荷物及び連絡事項

⑤ 拾得物及び預かり証

⑥ タクシーチケット交付台帳

2-2 駐車場業務

（1）業務の目的

駐車場業務は、下記対象箇所における車両の誘導整理、不当駐車規制をし、車両事故人身事故等の防止にあたり、職員・患者及びその他来客者の安全を図ることを目的とする。

（2）対象箇所

会津医療センター敷地内のすべての駐車場とする。

（3）業務日・業務時間

業務日及び業務時間は次のとおりとする。

① 業務日は、土・日・休日及び年末年始（12月29日から1月3日まで）を除いた日とする。

② 業務時間は下表のとおりとする。

種 別	業 務 時 間	休 憩 時 間
早 出 番	午前8時00分～午後2時00分	正午から30分間
遅 出 番	午前8時30分～午後2時30分	12時30分から30分間

（4）配置人員

乙は、業務実施のため、乙の社員を次のとおり配置するものとする。

① 2名以上の常駐員（「建築保全業務積算要領」の警備員C以上）を配置する。

(無線機等お互いの連絡手段を携帯する。)

- ② 駐車場が広範囲にわたるため、機動力のある職員を配置する。
- ③ 駐車場業務は、患者等と最初に接する業務であることから接遇をよくすること。

(5) 業務内容

業務内容は次のとおりとする。

- ① 車両の誘導整理に関すること。
- ② 自転車、バイク及び来院者の誘導に関すること。
- ③ 駐車場内の事故の防止に関すること。
- ④ 降雪期にあつては、機械除雪後の後始末補助等駐車場整理に支障のない範囲での除雪に関すること。
- ⑤ 整然と駐車できるよう、駐車区画の補整（降雪期も含め）に関すること。
- ⑥ 不当駐車を発見した場合は「警告の張り紙」をして、関係職員との連絡を密にすること。
- ⑦ タクシーの乗車待ち患者等の整理に関すること。
- ⑧ 防災ヘリ、ドクターヘリの発着時の対応に関すること。
- ⑨ 来院者の事故等、不測の事態が発生した際の人命救護に関すること。(連絡、通報、応急措置)
- ⑩ 従事する警備員は、AED講習を修了していること。

ただし、契約期間中に会津医療センターが開催するAED研修会に参加した場合もAED講習を修了したとみなす。

(6) 業務内容の報告及び記録

- ① 駐車場整理員は、駐車場誘導警備報告書(日誌)を作成し、業務状況を甲の指定する施設管理担当者に報告する。(任意様式)
- ② 毎月末までに翌月の警備員勤務予定表を提出すること。変更があつた場合は事前に書面で報告すること。(緊急の場合はこの限りで無い)

(7) 関係省令(労働安全衛生規則の一部を改正する省令(令和7年厚生労働省令第57号)等)を遵守すること。

3 設備管理業務

(1) 業務の目的

会津医療センターの機械設備の機能を維持させ、設備の効率的な運営と、良好な執務環境の保持、電気設備の運転操作及び保守管理、さらに受変電設備の点検について、効率的な運営を行い良好な執務環境の保持に努める。また、防災ヘリ、ドクターヘリの発着時の対応に努める。

(2) 業務の内容

① 運転監視

ア 機械設備

- a 運転開始前及び運転中の機器、装置類に各部の支障のないことを確認する。
- b 機器、装置の運転操作を行う。
- c 機器、装置の運転状態を確認し、計測、記録する。

- d 運転終了後は、機器、装置類の異常の有無を点検し、必要な処置をする。
- e 防災設備の監視を行う。

イ 空気調和機

- a 空気調和機は、防災センター中央監視盤により温度設定等を管理するが、各部署から温度設定等の緊急要請が出された場合は、施設管理担当者の指示により変更等を実施する。ただし、時間外、休日等施設管理担当者が不在の場合は、適宜判断のうえ実施し、後日施設管理担当者に報告する。

ウ 冷温水発生機・・・株式会社日立ビルサービス

- a 負荷変動に注意し経済的な運転を行うこと。
- b 冷温水発生機運転日誌を作成し報告すること。

エ 中央監視装置・・・アズビル株式会社

- a 監視盤、及びC R Tによる受変電設備、防災設備、熱源設備、エレベーター設備、搬送機設備等の運転状況の確認をする。
- b コンピューターの条件設定、同変更及び操作を行う。
- c プリンターにより各種日報等の作成及び管理を行う。
- d エレベーターで閉じ込めが発生した場合は、適正な対応と、可能な範囲で緊急救出を行う。

オ 自動制御装置・・・アズビル株式会社

- a 機器・装置類の各部に支障のないことを確認する。
- b 機器・装置の運転確認を行う。
- c 機器・装置の計測・記録をする。
- d 機器・装置類の異常の有無を点検し、必要な処置を行う。

カ 防災設備

- a 監視盤、及びC R Tによる各種防災設備の監視運転を行う。
- b 会津医療センター消防計画に定められた業務のうち防災設備運転監視業務に関すること。
- c 非常放送業務に関すること。
- d 各種日報等の作成及び管理を行う。

キ 電力の保全管理

- a 電力負荷の分析及びその結果に対する処置をする。
- b 最大電力の制御を行う。
- c 電源電圧の変動を確認し、タップ切替えを検討する。
- d 力率改善について検討し、処置をする。
- e 負荷率を検討し、必要な処置をする。
- f 不平衡電力を検討し、必要な処置をする。
- g 変圧器、エレベーター等の台数制限等の必要性、実施の方法その他を検討し、必要な処置をする。
- h 電力原単位を算出し、関係する事項について検討する。
- i 電力会社との業務上の連絡に当り、必要な処置をする。

ク その他

上記以外の事項においても運転監視上必要なものについては、誠意を持って運転監視を行うこと。

② 保守点検

保守点検は、『建設大臣官房官庁営繕部監修 建築保全業務共通仕様書 平成30年版』により行うこと。なお、会津医療センターの設備状況から建築保全業務共通仕様書に定める点検回数、点検内容に合致しない場合は、施設管理担当者と協議し、点検回数、点検内容を変更し、適正な保全に努めることとする。

なお、上記「仕様書」に定めがなくても保守管理上必要なものについては、誠意を持って点検すること。

ア 乙は、毎月、翌月の点検予定表を提出し、甲の承諾を受けること。また、月ごとの重点点検項目を定め、保全に努めること。

イ 点検の結果、異常を発見した場合は、直ちに適切な処置を行い、障害発生を防止すると共に、甲にその結果を報告すること。

ウ 整備については次による。

- a 不時の障害が発生した場合は直ちに甲に連絡し、指示により速やかに応急処置を行うこと。
- b 点検の結果、修理を要すると認めたときは、その都度、遅滞なく甲に報告し指示を受けること。
- c 保守業務に含まれる修繕処理作業については次のとおりとする。

【空気調和設備】

- ・ 空気調和設備の付属設備の軽微な修理及び部品交換。
- ・ 蒸気、冷却水用配管、冷温水用配管の軽微な修理。
- ・ 空気調和設備、送排風機等の回転機器への推奨運転時間毎の定期的なグリスアップの実施。
- ・ 空気調和機等のフィルターの定期的な清掃及び交換。

ただし、感染系統の排気用フィルターの清掃、交換は除く。

※末端部の吹き出し口の清掃は、清掃委託業務で実施するので、連携をとること。

- ・ 薬剤部内エアコン(12台)のフィルター清掃を年2回実施すること。(4月、10月)

【給排水衛生設備】

- ・ 給水、給湯、排水設備等の配管、ポンプ等の軽微な修理、部品交換。ただし、感染系統の清掃、部品交換は除く。
- ・ 衛生器具設備(洗面器、小便器、大便器、掃除流し等)の軽微な修理及び部品交換。
- ・ 配管等の詰まりへの対処、及び補修。
- ・ 各種ポンプ等の回転機器への推奨運転時間毎の定期的なグリスアップの実施。

【医療ガス設備】

- ・ 液化酸素ガスの貯槽日常点検表による点検。
- ・ 医療ガス中央監視モニターでの監視及び契約業者への手配。

【自動制御装置】

- ・ 部品交換等の軽微な修理及び交換。
- ・ 不具合発生時の自動制御設備の切り替え。

【電気設備】

- ・ 配線及び配線器具（スイッチ、コンセント等）等の簡易な修理。
- ・ 電灯設備の軽微な修理。
- ・ 弱電設備（放送、インターホン、構内電話、テレビ共聴、電気時計表示設備等）の軽微な修理。

【機械設備】

- ・ 機械設備全般の故障時の応急処置、軽微な修理、部品交換。
- ・ 機械設備全般の軽微な改良への対応。

【建屋設備】

- ・ 建物すべてにおける軽微な修理、部品交換

③ エネルギー管理

ア 業務の目的

会津医療センターにおいて、消費される電力、化石燃料（灯油）、給水（上水）等すべてのエネルギーを管理するとともに、データの収集、報告をすることにより、省エネルギー活動を効果的に推進することを目的とする。

イ 業務の内容

a エネルギー使用の絶対量の管理

エネルギーの種類別、用途別に絶対量を管理する。

- ・ 電力量
月間電力総使用量
- ・ 燃料
灯油の月間使用量
- ・ 水道
上水の月間使用量

b データの収集及び報告

月別の使用実績と目標の対比ならびに問題点の抽出、資料の作成及び報告。

c エネルギーの削減

会津医療センターの運営実態に合わせ、各種設備の制御し、エネルギーの削減を図る。

d エネルギー管理規定に基づく、各種設備の管理、計測及び記録。

e エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく「定期報告」及び「中長期計画」への参画

④ その他

ア 緊急を要する故障が発生した場合には、随時対応できる体制を確保しておくものとする。通常勤務人員以外での対応についての変更契約については、協議によるものとする。

イ 故障、その他部品交換又は補修を行う場合、これに必要な消耗器材は甲が支給するものとする。また、これに必要な保守部品・工具等については、会津医療センター内に常備させておくものとする。

ウ ボイラー業務従事者と点検業務等の従事者については相互に協力し業務を遂行す

ること。

エ 灯油燃料の搬入時の立ち会い、第一種圧力容器等検査の立ち会い、自家用電気工作物の点検及び消防設備の点検時に対応すること。

医療ガス中央監視モニターでの監視及び契約業者への手配、ボイラーブロー水の中和装置用炭酸ガスの監視と手配及びボイラー用薬品複合清缶剤等の手配をすること。

この他、会津医療センターでは、施設・設備の管理に当たり各種保守点検契約を締結していることから必要に応じ立ち会い等を行うこと。

オ 定期的に給気・排気フィルター（天井内の装置を含む）の差圧計の記録を行うこと。

カ 防災ヘリ、ドクターヘリが飛来する際、発着時の対応をすること。

また、休日の飛来にあたり当院救急車の出動が必要な際は、医師等スタッフの指示に従い救急車を運転すること。

キ 各出入口、免震施設の除雪に努めること。

ク その他施設管理担当者の指示によること。（施設管理担当者の補助等）

（３）保守管理業務対象建物

- ① 会津医療センター本体
- ② カルテ庫
- ③ 食品庫
- ④ 車庫
- ⑤ ボンベ庫
- ⑥ 液体酸素施設
- ⑦ 発電気室
- ⑧ 外構施設

（４）保守管理業務対象設備

- ① 中央監視制御装置一式
- ② 給水設備一式
- ③ 給湯設備一式
- ④ 衛生器具設備一式
- ⑤ 医療ガス設備一式
- ⑥ 防災設備一式
- ⑦ 空気調和設備一式
- ⑧ 自動制御設備一式
- ⑨ 高圧変電設備一式
- ⑩ 自家発電設備一式
- ⑪ 高低圧幹線設備一式
- ⑫ 電灯・動力設備一式
- ⑬ 通信設備一式
- ⑭ 避雷設備一式
- ⑮ その他機械設備全般及び電気設備全般

（５）業務内容の報告及び記録

- ① 管理業務内容の報告及び記録の様式を作成し、事前に甲の承諾を受けること。
- ② 管理業務内容の報告及び記録は、業務終了後速やかに甲に提出するものとする。
- ③ 主な報告及び記録は、下記のとおりとする。

ア 設備管理日誌

イ 熱源設備日誌

ウ 受変電日誌

エ 外調機管理日誌

オ 事故記録書（状況写真を添付のこと）・・・事故発生時

カ その他発注者が必要と認める書類

※１ 書式は、建築保全業務共通仕様書に基づき作成するものとし、発注者として特に定めない。

※２ ア～エまでの日誌は一連のものとして提出する。

- ④ 委託業者と管理担当者による業務の質を検討する場を設けるため、必要に応じ業務打合せを開催する。

（６）業務従事者の資格等

① 業務従事者の区分

区 分	技能・実務経験による区分	資格等による区分
保全 技師補	①設備の点検整備業務について、作業の内容判断ができる技術力及び必要な技能を有する者。 実務経験 10 年以上程度の者。 ②運転・監視及び日常的な点検保守業務について、高度な技術力及び判断力並びに作業の指導等の総合的な技能を有する。 実務経験 10 年以上程度の者。	エネルギー管理士
		電気主任技術者 （第 3 種以上）
		第一種電気工事士
保全 技術員	①設備の点検整備業務について、保全技師補の指示に従って作業を行う能力を有する者。 実務経験 5 年以上程度の者。 ② 運転・監視及び日常的な点検保守業務について、作業の内容判断ができる技術力及び必要な技能を有する。 実務経験 5 年以上程度の者。	危険物取扱者 （乙種 4 種）
		第二種電気工事士
		消防設備士
		ボイラー 2 級以上
保全 技術員補	①設備の点検整備業務について、保全技術員の指示に従い作業を行う能力を有する者。 ②運転・監視及び日常的な点検保守業務について、保全技術員の指示に従って作業を行う能力を有する者。	

業務従事者の区分について、実務経験によるほか表記資格の取得者については、同等の能力を有すると認める。

② 配置人員

上記の従事者のうち、次の条件に沿って配置すること。

ア 電気・機械関係の保守及び簡易な修繕を行うことができる者を常駐させること。

イ 危険物取扱の資格を有する者又は消防設備士の資格を有する者のうち、必ず1名は常駐させること。

なお、従事者の中から「危険物保安監督者」1名及び職務代理者3名を選任すること。

② 業務時間

日常運転監視・日常保守点検・ボイラー運転（365日）

昼 間		夜 間	
勤務時間	勤務人員	勤務時間	勤務人員
8:30～ 17:30	保全技師補 2人	17:00～ 8:30	保全技師補 1人
	保全技術員 1人		保全技術員 2人
	保全技術員補 1人		
	計 4人		計 3人

ア 昼間勤務時内において、1時間の休憩時間を有する。

イ 夜間勤務時の休憩時間は次のとおりとする。

- ・ 午後5時から午後10時まで及び翌日の午前5時から午前8時30分までのうち1時間30分。
- ・ 午後10時から翌日の午前5時までのうち2時間。
- ・ 昼間勤務者と夜間勤務者の引き継ぎは午後5時から行うこと。

※業務時間については上記のとおりとするが、労働基準法に抵触しない範囲内で変更する場合は発注者と協議の上決定するものとする。

(7) 業務責任者

① 乙は、前項により配置された業務従事者のうち、業務責任者を選出し、書面を提出し、甲の承諾を得るものとする。業務責任者は正社員であること。

② 業務従事者は、設備の運転監視及び保守業務のため、必要な教育訓練を修了した技術優秀な者とする。また日常監視及び日常保守点検業務の各勤務班に班長（技師補以上）を定めること。

③ 乙は、業務責任者並びに業務従事者を定め、甲に書面を提出し承諾を受けること。その際、下記の書面を添付すること。

ア 経歴書（6ヶ月以内に撮影した写真を添付すること。）

イ 資格等の写し

ウ 責任体系図等

エ その他施設管理担当者が必要と認める書面

④ 甲は、業務従事者として不適当と認めた者については、乙と協議の上、交替させることができる。

⑤ 業務従事者の交代については、特別な理由がない限り認めない。

特別な理由とは、自己都合などによる退社や会社規定などで認められている休職、欠勤などをいう。交代する場合は事前に甲の承諾を受け、交代者と十分に引継ぎを行い業務に支障のないようにすること。

業務従事者が急病等により休暇を取得し、当日の勤務人数が確保できない場合は、当該月単位で調整をすること。休暇日が月末等により当該月単位での調整ができない場

合は、翌月での調整を行うこと。

- ⑤ 業務従事者は、関係法令を遵守し、誠意を持って業務にあたること。
- ⑥ 業務遂行時の服装は、乙の指定する制服を着用すること。
- ⑦ 医療センターが開催する、「防火・防災管理委員会（年２回）」並びに「医療ガス安全管理委員会（年１回）」に参加すること。

4 建築設備定期点検業務（毎年実施）

（１）業務の目的

建築基準法第１２条第３項の規定に基づく建築設備定期点検業務

（２）業務の内容

別紙共通仕様書及び特記仕様書に基づき定期点検を実施し、特定行政庁（建築主事を置く都道府県知事）に提出する報告書を作成する。

（３）報告期限

令和８年９月３０日

5 防火設備定期点検業務（毎年実施）

（１）業務の目的

建築基準法第１２条第３項の規定に基づく防火設備定期点検業務

（２）業務の内容

別紙共通仕様書及び特記仕様書に基づき定期点検を実施し、特定行政庁（建築主事を置く都道府県知事）に提出する報告書を作成する。

（３）報告期限

令和８年９月３０日

6 除雪業務

（１）業務の目的

駐車エリア、歩行スペースの確保、凍結による事故や患者の転倒等の防止にあたり、職員・患者及びその他来院者の安全を図ることを目的とする。

（２）業務内容

別紙「除雪作業業務委託仕様書」による。

（３）その他

- ①除雪機及び燃料等は受託者側で用意すること。
- ②予定稼働時間と実績が乖離する場合は、出来高に合わせて変更契約を締結すること。
- ③正面玄関や横断歩道等の通路における凍結箇所には、会津医療センターで用意する凍結防止剤を散布すること。

7 共通業務

- （１）面会者受付等の業務を、職員・時間外出入口において実施する。なお、都合により受付時間等に変更が生じたときは、施設管理担当者の指示に従うこと。

受付時間：午後２時から午後４時まで

- (2) 院内暴力事案の発生時における院内の安全確保に関すること。
- (3) 医療情報ラウンジに設置してあるパソコンの電源入切
午前8時に「入」 午後6時「切」
- (4) 床頭台のスイッチカード（電源の入切りを実施するカード）の配付。
 - ①夕方に総務課職員から、スイッチカードと管理簿を受け取る。
 - ②病棟看護師からスイッチカードの要望があった場合は、申込書と引き換えに該当するスイッチカードを配付する。（カードは3種類あります）
 - ③管理簿に配付枚数を記載する。
 - ④翌営業日の午前中にスイッチカードと管理簿を総務課に返還する。

8 院内感染対策への参加

乙は会津医療センターが開催する各種研修会に参加要請があった場合は、責任者はもとより従事者も参加できるよう配慮すること。

また、従業員は、B型肝炎（必須）、麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、インフルエンザ等の予防接種を受けるように努めること。

9 留意事項

業務上の留意事項は次のとおりとする。

- (1) 業務にあたっては、甲の定めにより個人情報等の取り扱いに十分留意する。
- (2) 業務上知り得た情報等について機密の保持に努め、決して外部に漏らしてはならない。
- (3) 事件の取扱いにおいては、緊急やむを得ない場合を除いては、努めて関係職員と協議し、独断専行を避けること。

10 業務従事者の社会保障制度について

本業務は公立大学法人の発注する業務であり、厚生年金や雇用保険、社会保険、退職金制度へ加入すること。また他の福利厚生などの社会保障制度に積極的に取り組むこと。

11 賠償責任保険の加入について

本業務に関連して発生する事故に備えて、賠償責任保険等に参加し、その写しを提出すること。

12 相互協力

全ての委託受注者は、会津医療センター施設管理に必要なものについて、相互に協力し適切な管理を行うものとする。

13 疑義

この仕様書に定めのない事項又は、この仕様書に疑義が生じた場合には、必要に応じて、協議してこれを定めるものとする

建築物定期調査等業務共通仕様書

1 適用	<ul style="list-style-type: none">・本共通仕様書（以下「共通仕様書」という。）は建築物の建築基準法第12条の定期調査に適用する。・共通仕様書に規定する事項は、別の定めがある場合を除き、受注者責任において履行すべきものとする。・設計仕様書は、相互に補完し合うものとし、そのいずれかによって定められている事項は、契約の履行を規定するものとする。ただし、設計仕様書の優先順位は、次の(1)(2)の順番とする。 <p>(1)特記仕様書 (2)共通仕様書</p>
2 調査の範囲	<ul style="list-style-type: none">・定期調査の対象部分、数量等は、特記による。・「法令に基づく検査記録」又は「自主検査記録」があり、その記録が基準を満たしている場合には、それを適用することができる。・特記した対象部分について別添調査点検表に示す調査項目を実施し、その結果について報告する。なお、特記した対象部分以外であっても、異常を発見した場合には、監督者に報告する。
3 報告書の様式	報告書の様式は、特記による。
4 監督員	監督員は、受注者及び業務責任者に対する指示、承諾又は協議を行うものとし、特記事項で定める者とする。
5 業務責任者	定期調査業務の実施に先立ち業務責任者を選任し、業務責任者通知書を提出する。なお、業務責任者に変更があった場合も同様とする。
6 業務計画書	<ul style="list-style-type: none">・受注者は、業務の実施に先立ち、業務計画書を作成し、承諾を受ける。変更があった場合にも同様とする。・業務計画書には、次の書類を添付するものとする。・委託業務着手届・委託業務工程表・業務担当者名簿
7 業務責任者	<ul style="list-style-type: none">・業務責任者は、特記仕様書に定める者とする。

8 監督員の立会	作業に際して監督員の立会を求める場合は、あらかじめ申し出る。
9 調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・調査を行う場合には、あらかじめ監督員から劣化及び故障状況を聴取し、調査の参考とする。 ・調査は原則として目視、触接又は軽打等により行う。 ・測定を行う調査は、定められた測定機器又は当該事項専用の測定器を使用する。 ・異常を発見した場合には、同様な異常の発生が予想される箇所の調査を行う。
10 応急処置等	調査の結果、対象部分に脱落や落下又は転倒のおそれがある場合、また、継続使用することにより著しい損傷又は関連する部材・機器等に影響を及ぼすことが想定される場合は、速やかに監督員に報告する。
11 調査の省略	次に掲げる部分は調査を省略することができる。ただし、特記がある場合はこの限りでない。
12 調査に伴う 注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・調査の実施の結果、対象部分を現状より悪化させてはならない ・調査の実施に当たり、仕上げ材、構造材等の一部撤去又は損傷を伴う場合には、あらかじめ監督員の承諾を受ける。
13 業務の検査	<p>受注者は、業務が完了したときは次の書類を提出し、発注者の指定した者が行う業務の検査を受けるものとする。</p> <p>(1)委託業務完了届</p> <p>(2)報告書</p>

建築設備定期点検業務特記仕様書

1 件 名	会津医療センター建築設備定期点検業務
2 履行場所	福島県会津若松市河東町谷沢字前田 2 1 番地 2
3 履行期間	令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日
4 業務仕様	本仕様書に記載されていない事項は、「建築物等定期調査業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）による。
5 業務対象	<p>本仕様の対象業務は、次のとおりとする。</p> <p>建築基準法第 1 2 条に基づく 福島県立医科大学会津医療センターの建築設備の定期点検</p> <p>鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根地下 1 階付 7 階建て</p> <ul style="list-style-type: none">・換気設備・排煙設備・非常用照明設備・給水設備及び排水設備
6 貸与資料	<p>定期検査業務の実施に先立ち、次の関係資料の内必要な資料を貸与する。なお、契約終了後速やかに返却すること。</p> <p>(1) 諸官庁提出書類控え</p> <ul style="list-style-type: none">・ 官公署関係届出書・ 許認可書類・ 自家用電気工作物保安規程 <p>(2) 設備関連</p> <ul style="list-style-type: none">・ 設備機器台帳 <p>(3) 点検、検査記録簿関連</p> <ul style="list-style-type: none">・ エネルギー消費記録・ 検針（課金）記録・ 事故、修繕、更新記録・ 空気環境測定記録・ 受変電設備自主検査記録・ 定期自主検査記録・ 特殊建築物等（建築設備）定期点検記録・ 建築設備法定検査記録・ 消防設備点検結果報告書・ エレベーター法定点検記録 <p>(4) 図面類</p> <ul style="list-style-type: none">・ 竣工図・ 設計図・ 各種施工図・ 機器完成図・ 試験成績書・ 取扱説明書

	<p>(5) 管理資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カタログ ・ 保証書 ・ 建物維持管理の記録 ・ 保守契約リスト
7 業務の実施	<p>定期点検業務は、次の適用基準によって行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成20年3月10日国土交通省告示第285号に定める方法と基準によって行う。
8 業務責任者	<p>定期点検業務の業務責任者は、次のいずれかの資格を有する者とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一級建築士 ・ 二級建築士 ・ 法定講習を修了した者で、国土交通大臣から資格者証の交付を受けた者
9 業務条件	<p>定期検査業務の実施時間帯は次のとおりとする。実施日は、監督員と協議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 平日（開庁日：月曜日から金曜日（祝日を除く）） 8時30分～17時15分 ② 休日（開庁日：土・日曜日及び祝日） 8時30分～17時15分
10 報告書	<p>定期点検業務の報告書は、次のものとする。なお、様式等は別紙の様式のものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期点検結果報告書 ・ 点検計画（結果）図 ・ 建築物検査結果表（写真含む） ・ 建築設備検査結果表
11 報告書の 納入部数	<p>定期点検業務の報告書を3部提出する。（原本1部、写し2部）</p>

防火設備定期点検業務特記仕様書

1 件 名	会津医療センター防火設備定期点検業務
2 履行場所	福島県会津若松市河東町谷沢字前田 2 1 番地 2
3 履行期間	令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日
4 業務仕様	本仕様書に記載されていない事項は、「建築物定期点検等業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）による。
5 業務対象	<p>本仕様の対象業務は、次のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none">・建築基準法第 1 2 条に基づく福島県立医科大学会津医療センターの防火設備定期点検鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根地下 1 階付 7 階建て・防火扉・・・・・・・・・・ 2 2 箇所・防火シャッター・・・・ 3 箇所
6 貸与資料	<p>定期検査業務の実施に先立ち、次の関係資料の内必要な資料を貸与する。なお、契約終了後速やかに返却すること。</p> <p>(1) 諸官庁提出書類控え</p> <ul style="list-style-type: none">・ 官公署関係届出書・ 許認可書類・ 自家用電気工作物保安規程 <p>(2) 設備関連</p> <ul style="list-style-type: none">・ 設備機器台帳 <p>(3) 点検、検査記録簿関連</p> <ul style="list-style-type: none">・ エネルギー消費記録・ 検針（課金）記録・ 事故、修繕、更新記録・ 空気環境測定記録・ 受変電設備自主検査記録・ 定期自主検査記録・ 特殊建築物等（建築設備）定期点検記録・ 建築設備法定検査記録・ 消防設備点検結果報告書・ エレベーター法定点検記録 <p>(4) 図面類</p> <ul style="list-style-type: none">・ 竣工図・ 設計図・ 各種施工図・ 機器完成図・ 試験成績書・ 取扱説明書 <p>(5) 管理資料</p> <ul style="list-style-type: none">・ カタログ・ 建物維持管理の記録・ 保証書・ 保守契約リスト

7 業務の実施	平成28年5月2日国土交通省告示723号で定める方法と基準によって行う。
8 業務責任者	<p>定期点検業務の業務責任者は、次のいずれかの資格を有する者とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一級建築士 ・ 二級建築士 ・ 法定講習を修了した者で、国土交通大臣から資格者証の交付を受けた者
9 業務条件	<p>定期検査業務の実施時間帯は次のとおりとする。実施日は、監督員と協議する。</p> <p>① 平日（開庁日：月曜日から金曜日（祝日を除く）） 8時30分～17時15分</p> <p>② 休日（閉庁日：土・日曜日及び祝日） 8時30分～17時15分</p>
10 報告書	<p>定期点検業務の報告書は、次のものとする。なお、様式等は別紙の様式のものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期点検結果報告書 ・ 点検計画（結果）図 ・ 防火設備検査結果表（写真含む）
11 報告書の 納入部数	定期点検業務の報告書を3部提出する。（原本1部、写し2部）

会津医療センター除雪作業業務委託仕様書

(目的)

第1条 この仕様書は、公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター敷地の除雪作業業務に必要な事項について明記する。

(数量)

第2条 除雪作業業務に要する予定数量等は次のとおりとする。ただし、降雪の状況により数量が著しく予定数量と乖離した場合は、出来高により変更契約する。

除雪機械の種類	規格	時間
タイヤドーザ（2台） ロータリー（1台）	9 t 程度	約100時間

※タイヤドーザの稼働日数は延べ16日（8日×2台）、

1台当たりの稼働時間は1日に5時間を想定。

※ロータリーの稼働日数は8日、稼働時間は1日に2時間を想定。

(除雪作業区域及び一時置き場所)

第3条 除雪作業区域は、別図のとおりとする。

2 除雪作業区域については、次のとおり現地を確認の上実施するものとする。

① 除雪箇所の形状及び構造物（縁石、側溝、視線誘導標等）の位置を確認する。

② 占用物（防火水槽、その他マンホール等）との段差を確認する。

③ 除雪後の一時置き場所については、別図のとおりとする。

ただし、除雪作業を進める上で一時置き場所に不足が生じる場合は、新たに場所を選定するか又は排雪するか甲と協議をすること。

3 第1項に掲げる現地確認作業を実施したのち、除雪作業の目印とするため、ポール等を設置（ポール不可の場所に限り、三角コーンも可とする）し、スムーズな除雪作業の実施及び施設の破損防止に努める。

4 除雪作業区域は、第1条に規定する別図によるものとするが、西側駐車場に設置する防雪柵が原因により市道に雪が溜まった場合は、当センター側で除雪する場合があるので、甲から別途指示をする。その際は、当センター側に除雪すること。

(除雪機械の配備)

第4条 契約に係る除雪機械は次に掲げる機種とし、除雪に際して乙の待機所から会津医療センターまでの時間を考慮し、除雪機械を敷地内に待機させて置くことが出来るものとする。当該除雪機械の待機場所については、甲と協議するものとする。

タイヤドーザ（9 t 程度） 2台、ロータリー 1台

(除雪作業の実施目安)

第5条 除雪作業の実施については、おおむね12cm以上とする。

2 除雪作業の要請は、警備業務又は設備管理業務従事者（以下、「防災センター職員」）

とする) が判断し出動要請の連絡をすること。

3 除雪作業は、遅くても午前7時までに完了すること。

入院患者もいることから、除雪作業の実施に当たっては、効率的な方法等を模索しながら実施し、除雪作業時間の短縮に努めること。

除雪は東側駐車場から実施するものとする。西側駐車場は病棟直下のため除雪音が直接響くため、不用意なバック走行などしないよう注意をすること。

4 除雪作業時間は第3項規定によるものとするが、降雪が続き来院者駐車場及び職員駐車場において車の走行等に支障が出ると判断される場合は、随時出動要請をするため速やかに応じること。

(作業完了の報告及び確認)

第6条 除雪作業終了後、防災センターに常備する除雪作業日誌に実施時間等を記載し、施設管理担当者の確認を受けるものとする。

(除雪作業時間)

第7条 除雪作業時間とは、主目的である除雪作業時間であり、除雪作業の要請がありオペレーターが会津医療センターに到着するまでの時間及び試運転等の時間は含まないものとする。

(事故等)

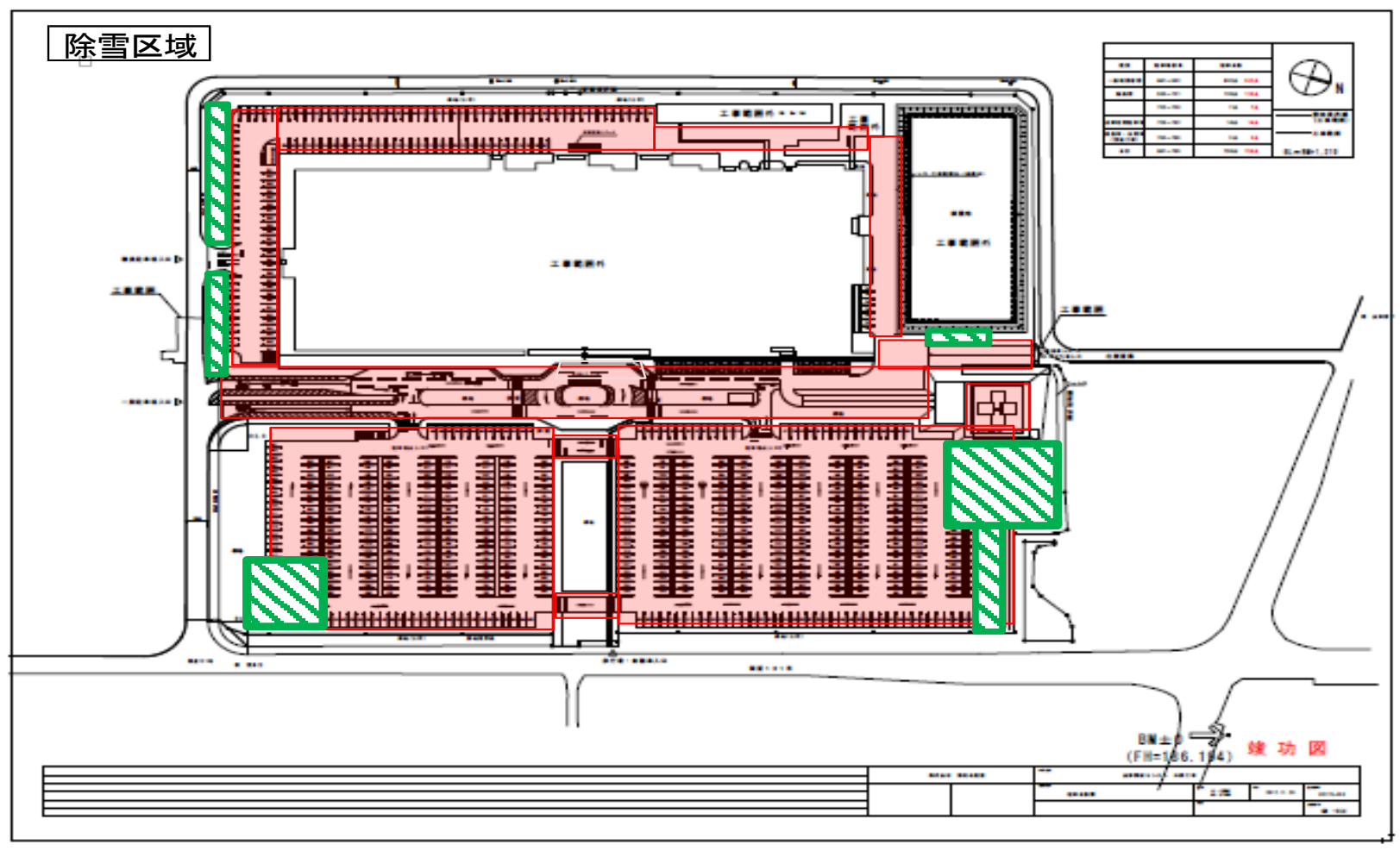
第8条 除雪作業上、第2条第2項に規定する施設等を破損した場合は、速やかに防災センター職員に報告し確認を受けること。施設担当者は、防災センター職員から破損等状況の報告を受け、乙に対し、今後の対応について連絡する。

施設の破損については、弁償（現物補償）を基本とする。

(その他)

第9条 この仕様書に規定されていない事項が発生した場合は、その都度、甲乙協議の上決定するものとする。

除雪区域



- 凡例
- 除雪区域
 - 除雪後の一時置場所(およその目安)

